

駿府城公園 総合ガイド

徳川家康
大御所時代の居城

2023年12月発行

アクセス



■電車でお越しの方

- JR 静岡駅から徒歩約15分
- 静岡鉄道 新静岡駅から徒歩約12分



■バスでお越しの方

駿府浪漫バスコミュニティバス「こしず」のご利用が便利です。

- JR 静岡駅(北口10番のりば)から駿府浪漫バス約15分(東御門下車)
- 静岡鉄道 新静岡駅(3番のりば)から駿府浪漫バス約11分(東御門下車)

※団体バスの駐車スペースについて
駿府城跡観光バス駐車場(有料)をご利用ください。
ご利用の際は事前に管理事務所までご連絡ください。
【お問い合わせ先】 TEL.054-255-6868



■車でお越しの方

- 東名高速 静岡I.Cより車で約17分
- 新東名高速 新静岡I.Cより車で約18分

※駐車場のご用意はありません。市民文化会館駐車場(有料)をご利用ください。
※その他有料駐車場をご利用の際は、ウェブサイトしずおか中心街の駐車場案内システム「おまち〜る」を活用ください。

お問い合わせ

■駿府城公園の施設について

駿府城公園二ノ丸施設管理事務所 〒420-0855 静岡県静岡市葵区駿府城公園1-1

TEL.054-251-0016 FAX.054-251-0056

■駿府城跡天守台の発掘について

静岡市観光交流文化局歴史文化課
TEL.054-221-1085

■駿府城公園利用について

静岡市都市局緑地政策課
TEL.054-221-1107

ENGLISH
WEB SITE



駿府城公園

検索

駿府城公園ランドマーク共同事業体

駿府城公園内の4つの施設では、
駿府城の歴史などをお楽しみいただけます。

■東御門・巽櫓 ■坤櫓 ■紅葉山庭園 ■発掘情報館 きゃっしる

開館時間

午前9時～午後4時30分 ※入館は午後4時までとなります。

休館日

月曜日(祝日・休日にあたる場合は休館振替なしで営業)

年末年始(12月29日～1月3日)

※発掘情報館きゃっしる天守台発掘調査現場見学ゾーンは年末年始(12月29日～1月3日)のみ休館

入館料

駿府城公園全施設(東御門・巽櫓、坤櫓、紅葉山庭園)共通券

～3施設が堪能できるお得な共通券です～

大人 ¥360 (団体20名様以上 ¥280)

小人 ¥120 (団体20名様以上 ¥90) [小・中学生]

※静岡市在住・70歳以上であることが確認できるものを提示された方は入館が無料となります。

各施設入場券

大人 東御門・巽櫓 ¥200 (団体20名様以上 ¥160)

坤櫓 ¥100 (団体20名様以上 ¥80)

紅葉山庭園 ¥150 (団体20名様以上 ¥120)

小人 ¥50 (団体20名様以上 ¥40) [小・中学生]

「発掘情報館 きゃっしる」の入館料
及び「天守台発掘調査現場見学ゾーン」は無料です。

< 100名城スタンプ欄 >

日本100名城 No.41 駿府城
～駿府城は、「日本100名城」に認定されています～

※スタンプは、東御門・坤櫓内で押印いただけます。

駿府城公園の歴史

徳川家康（幼名・松平竹千代）は、幼年時代、五カ国領有時代、大御所時代を駿府（現静岡市街地）で過ごしました。

天下統一を果たした家康は、將軍職を息子・秀忠に譲り大御所となり、駿府に拠点を置くことを決めます。

慶長12（1607）年、諸国の大名に命じて駿府城の普請を開始し、輪郭式で石垣を廻らせた三重の堀（内側から本丸・二ノ丸・三ノ丸）を持ち、本丸の北西には5重7階（または6重7階）の勇壮な天守を配置した城を築城しました。

駿府は、江戸にせまる政治・経済・文化の中心として黄金時代を迎えます。

家康の死後、寛永12（1635）年の火災により天守等のほとんどの建物が焼失し、櫓、門等の建物は再建されますが、天守は再建されませんでした。以後江戸時代の駿府城は、建物の規模も次第に縮小していきます。

明治時代になると、陸軍歩兵第34連隊の設置に伴い本丸堀は埋められ、三ノ丸は官庁や学校などの公共用地となりました。

戦後、本丸、二ノ丸部分は公園として整備され、市民の憩いの場となっています。桜の名所としても知られ、春には数百本の桜が彩り、5月にはあざやかなツツジが楽しめます。

また、東御門・翼櫓、坤櫓が伝統的な木造工法によって復元され、内部では駿府城の絵図や復元資料・出土品などを展示しています。

御城印
駿府城オリジナル販売中

お求めは……..
東御門・翼櫓(売店)、
坤櫓入場券
販売窓口まで



6 家康公手植のミカン

鎌倉時代に中国から渡来した紀州ミカン(コミカン)の一種でホンミカンとも呼ばれており、静岡地方のミカンの起源を知るうえで貴重なもので、県指定天然記念物となっています。



7 本丸堀(内堀)

駿府城の三重堀の最も内側の堀です。歩兵連隊設置のため、明治29年に埋められてしまいましたが、発掘調査により一部が確認され、その姿を現しています。



8 二ノ丸水路

本丸と二ノ丸をつなぐ水路です。底にも石が敷いてある大変めずらしい構造です。水路は本丸堀の水位を保つ役割を果たしていたと考えられています。



9 天守台発掘調査現場

日本最大級の大きさの天守台を公開中!迫力ある天守台や出土品展示などを見学することができます。



10 富士見芝生広場

天気がよく空気が澄んだ日には、広場から雄大な富士山を一望できる富士山のビュースポットです。



1 2 東御門・翼櫓

内部の展示が令和3年4月1日に、駿府城を深く知り楽しめる内容にリニューアルされました。駿府城のルーツから今に至るまで最新の調査結果を反映しながら「駿府城の一生」を紹介しています。



3 坤櫓

坤櫓は、駿府城二ノ丸の南西に位置する櫓で、土台、柱、梁といった建物の骨組みに釘などを使わない伝統的な木造工法により、平成26年に復元されました。各階の床板と天井板を取り外した吹き抜け空間にしているため、床下から天井まで、二重三階の櫓の構造を見通すことができます。



4 紅葉山庭園

紅葉山庭園は、駿府城公園の歴史的な背景を活かし、大名庭園に見られるような、遊びと楽しさを基調として創られました。駿河の国の自然と名勝を表現した4つの庭を中心に、春は桜、夏は紫陽花、秋は紅葉、冬は椿など、四季折々の風景を見せる趣をもった庭園です。



駿府城公園案内図

「大御所」として駿府に移ってきた頃の家康の姿を表した銅像です。家康は晩年の65歳から亡くなる75歳までの約10年間を駿府で過ごしました。